

精神科専門医・精神保健指定医のなごみクリニック伊藤先生が、
あなたやご家族の不調の改善に向けて、親身になってお手伝いします。

「認知症」の早期発見を目指しましょう

どんな人も認知症になる

可能性がありますが、人生をかけて打ち込むようなライフワークがある人は、認知症になりにくいと言われています。退職後も、打ち込むものを見つけて生き生きと生活することが、認知症予防にも理想的です。

早期治療が大切です。

「認知症」の約半数を占めるアルツハイマー型認知症の初期症状は、①同じことを何度も言ったり聞いたりを、②頻繁に財布などを置き忘れる、③頻繁に水の出しっぱなしや火のつけっぱなしがあるなどで、さらにそれらの行動自体を忘れるという症状が出ます。今の治療では、残念ながら進行を遅らせることしかできません。だからこそ、早期治療が大切です。ところが周囲が「認知症では？」と気付く頃には、症状が重くなっていることが多く、早期に気付きにくいのも事実です。また、本人が認めたがらないために、治療の開始が遅れがちに。1回でも火の消し忘れがあったら、診察を受けてみることをおすすめします。質問を投げかけて判定するテストがありますので、本人の負担も少なくて済みます。

父が退職後何もせず、
ボケてしまうかと心配です。

打ち込めるものがある人は
ボケにくいです。



Profile

なごみクリニック

院長／伊藤 俊(いとう たかし)

精神科専門医・精神保健指定医
神奈川県生まれ。東京医科大学
医学部卒業。東京医科大学付属
病院 メンタルヘルス科入局後、平
成20年5月より医療法人社団愛陽
会 三川病院に勤務。平成28年3
月よりなごみクリニック開院。